

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		あしたばデイブリッジ		公表日		令和 8年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		適切である		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		適切な人数を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		支援室・事務所の出入り口やトイレ等、全てドアで仕切られバリアフリーである		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃と必要箇所には消毒をしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの様子により必要な場合は相談室を使用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員全員で話し合い、計画・実行・評価し記録に残している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者会を年1回開催し、意見・要望を聞き、改善する努力をしている。保護者向けアンケートも年1回実施。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日ミーティングをして意見交換をしている。必要に応じて、携帯ツールを使って職員全員が把握できるようにしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	ヒヤリ・ハットや支援プログラムなど他事業所と共有し、業務改善を図っている	現在、外部委託はしていない。今後、検討中。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月会社全体の研修や事例の共有を行っている	月一度の全体ミーティング等で意見交換をする事により自身のスキルアップにつなげていく	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HP上で公開している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		子どもや保護者からニーズをくみ上げ、職員全員で話し合って計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画書作成時には、職員全員で話し合い、同意の上作っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画に沿った支援を共有し、提供している		
	15	こどもの追加行動の状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		発達検査の共有と施設から保護者に向けたアンケート等により確認をしている		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		計画書に明記してある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームで支援目的をもちながら、毎月活動プログラムを作っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節や人数、利用者のその日の状態に合わせて活動内容を替えている。プログラムは一覧にまとめ保護者へ手渡ししている	個々の成長に応じた内容や子供達を楽しめているかを考えて工夫している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		発達段階に合わせて、ルールや時間を決めて個別又は集団活動を行えるように事前に計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前にミーティングを行い、常に役割の確認をしながら支援している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		日々の様子を日誌に記入し、職員間でも話し合い共有している	支援終了後、気付いた点等、口頭で伝えるようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日誌に記録し、スタッフ間で意見交換し、検証・改善している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		毎日の日誌を個別に記録し、半年ごとのモニタリングを行う。保護者の意見・要望を聞き見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		自立支援・地域交流・創作活動・自由遊びを組み合わせ支援をしている	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		本人の主張を尊重しながら支援を進めている。自分で考え、決める力を養う為に自由遊びを取り入れている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		情報を随時提供できるように体制を整えている	必要に応じて行っている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校へのお迎えの時や担任の事業所訪問の際に情報交換している。必要に合わせて連絡を取っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		関係各所と情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		情報を随時提供できるように体制を整えている	必要に応じて行っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		機会があれば研修を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		公園での交流や公共施設内での交流がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		グロウスの会に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時にその日の児童の様子や活動内容を保護者に報告している	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		必要に応じて行っている		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明している	
	37	保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		送迎時など保護者と話す機会を設け、半年に1回のアンケートを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画時説明をし同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談に応じ、助言と支援をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		年1回保護者会を開いて、連携を図っている。運動会イベント時、誰でも参加できる機会をもうけている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		スタッフ間で話し合い、迅速に対応するよう努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		HPにて公表をしている。連絡帳を活用したり、日々の送迎で保護者と意見交換している。年1回の活動報告書を保護者に向けて発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報鍵のかかるキャビネットで保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		連絡帳を作り、伝達漏れのないように毎日記載している。送迎時にその日の児童の様子や活動内容を保護者に報告している	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		音楽発表会や運動会などの行事はどなたでも無料で観覧できるようにしている		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを策定し、MTGやお知らせにて周知し、定期的に訓練を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2回、火災と自然災害に対する避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に子どもの状況把握をしている。半年に1回、服薬についても確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者の判断で対応し、医師の指示書があればそれに従う	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、日々危険のないよう研修・訓練をしている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		支援室の入口に明記してある	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月のミーティングで話し合い、議事録を作りその内容を共有している	各事業所だけではなく月に1度の全体ミーティングでも共有しあっている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年1回、会社全体のミーティングにて研修をしている。事業所でも話し合いをしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		必要なケースがあれば本人または保護者と話し合い、同意を得たうえで書面を交わしてから行い、記録していく		